



地場産業の繁栄へ！（株）ナンガらとアウトドア商品【タフトン】を開発！

～本日からふるさと納税の返礼品として取扱い開始～

滋賀県米原市は、アウトドアメーカーの株式会社ナンガ（本社：滋賀県米原市本市場 182-1）と、寝具メーカーのフランスベッド株式会社とともに、市内の地場産業である「布団」を活かしたアウトドア商品【タフトン】を開発し、本日、ふるさと納税の返礼品として取扱いましたのでお知らせします。

「タフトン」は、アウトドアや車中泊時に活躍する羽毛布団です。軽量生地の使用や撥水加工によって室内外でも使用でき、またコンパクトな収納は災害時の利用にも適していることから、タフな布団「タフトン」と名付けました。

当市は、古くから養蚕業や布団製造が盛んで、高品質な真綿は近江真綿として全国に知られていますが、近年は安価な真綿や化学製品の普及により、生産・製造量は減少の一途を辿っています。

そこで、当市の強みである「アウトドア」と「地場産業」に着目し、近年、国内生産にこだわったダウンメーカーとして注目を集める地元企業等と新しいアウトドア商品を開発することで、伝統産業の近江真綿や米原市産の布団に注目が集まることを期待しています。

今回の開発にあたり、市長の平尾道雄は「布団生産が盛んな米原市から生まれた米原市らしいアウトドア商品。屋内と同じように布団で寝るアウトドアや快適な車中泊を提案することでアウトドアユーザーのすそ野を広げるとともに、アウトドアレジャーが集積する米原市の認知度を高め、地域活性化につなげていきたい。」と抱負を語っています。



タフトン（青）



タフトン（赤）



米原はアウトドアレジャーの宝庫（写真は伊吹山でのパラグライダー体験）

■布団生産が盛んな米原市

米原市内では、江戸時代から養蚕業が盛んとなり、全盛期には400軒ほどの真綿の製造所がありました。近江真綿（おうみまわた）として全国に知られ、近江真綿を使った布団のほか、軍用の防寒具としても用いられました。戦後、中国産などの安価な真綿や化学繊維に押されて養蚕業が衰退していきませんが、布団生産の技術を活かし、輸入真綿や化学繊維、ダウンなど時代に求められる素材を使った布団を生産するようになりました。なお、近江真綿の製造は、現在、市内で3社にまで

減少し、全国でも国産真綿の製造はわずか6社（米原市3社を含む。）のみとなっています。

■アウトドアレジャーの宝庫 米原

滋賀県東北部に位置する当市は、市の6割が森林という豊かな自然に恵まれる一方、滋賀県唯一の新幹線駅を有し、古くから交通の要衝となっています。日本百名山の伊吹山をはじめ、グランピング施設、スキー場、体験型観光農園など多数のアウトドアレジャーが集積し、琵琶湖を自転車で一周するビワイチの出发点にもなっています。

■「タフトン」の商品概要

「タフトン」は、株式会社ナンガ製の生地フランスベッド株式会社のダウンを使用。屋外では春、夏、秋の3シーズン利用可能です。コンパクトに収納できるため、キャンプなどのアウトドアのほか、キャンピングカーなどでの車中泊にも適した製品です。持ち運びやすいことから災害時の利用にも適しています。

なお、製品加工はすべて国内で行っており、ダウンは10年間の保証、側生地は3年保証が付きまます。

〈商品規格〉

表生地：15dn ナイロンリップシレ撥水加工

裏生地：15dn ナイロンリップシレ撥水加工/グレー

ダウン：ハンガリー産ホワイトダックダウン 90%

サイズ：シングルサイズ

ダウン量：900g

カラー：レッド・ブルー

付属品：収納袋1枚、長期保管収納ケース1枚

(ダウン破損を防ぐため長期保管時は付属の収納ケースをご使用ください。)

収納時サイズ：収納袋幅18φ×高さ50cm

長期保管用収納ケース：横62×縦50×奥行32cm



商品タグはダブルネーム使用



表面生地には撥水加工



コンパクト収納
(幅18φ×高さ50cm)

■ふるさと納税の返礼品として掲載

米原市のふるさと納税では、これまでからパラグライダー体験をはじめバーベキュー体験などのアウトドアユーザーに向けた返礼品を提供しています。

今回の「タフトン」は、限定20個（赤・青各10個ずつ）を寄付額200,000円の返礼品として提供いたします。当面市販の予定がないことから、今回のふるさと納税でのみ入手できる商品となります。（ふるさとチョイス 米原市のページ <https://www.furusato-tax.jp/city/product/25214>）
